2025.5.1現在

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
名古屋こども専門学校	平成25年3月22日	向井　潔	〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅2-15-17 （電話）052-533-2110
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人　三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、教育基本法に則り、学校教育法に基づき保育士、幼稚園教諭に必要な知識・技能を教授し、保育所・幼稚園・一般企業などで活躍できる人材の養成を目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
保育科	2年	120人	240人
こども総合学科	3年	160人	480人

＜客観的な指標の算出方法＞

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

＜卒業要件について＞

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
保育科	学園の教育理念に基づき、２年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる。 （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に応じた保育を実践し、より質の高い保育を求めて成長し続けることができる。 （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる。
こども総合学科	学園の教育理念に基づき、３年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる。 （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に応じた保育を実践し、より質の高い保育や社会の発展を求めて成長し続けることができる。 （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる。

＜取得可能な資格について＞

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-child/jobdata/skill.html

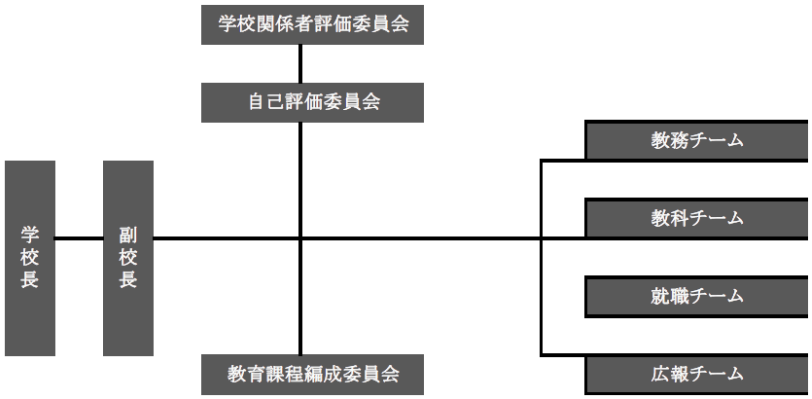
＜卒業後の主な進路について＞

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-child/jobdata/jobdata.html

③教職員

専任教員	21
兼任教員	36
事務職員	5

教職員の組織



＜教職員の専門性について＞

名前	専門分野	資格・職歴等
谷口　涼花	保育・実習	保育士・幼稚園教諭2種・保育園勤務歴10年
佐藤　ゆめ	保育・実習	保育士・幼稚園教諭１種・保育園勤務歴11年
木村　悠希	音楽（ピアノ）	中学校教諭一種免許・高校教諭一種免許（音楽）
乾　岳史	福祉	保育士・児童養護施設施設長
安冨　恭子	幼児教育	保育士・幼稚園教諭2種・幼稚園勤務歴16年

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-child/course/practice/
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 ＜保育科・こども総合学科　保育実習＞ 実習に向けて必要な準備（実習日誌の書き方など）は授業内で丁寧に指導。実習前に不安や疑問を解消して実習にのぞめるようサポート。実習期間中は実習巡回で現場指導をリアルタイムで実施する。実習終了後は自分の実習体験を振り返り、グループごとに発表。さらに友人の実習体験を聞き、ディスカッションをすることで、多様な保育の価値観にふれ、次回の実習に活かすことができる。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-child/schoolguide/year.html

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
チーム担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。 また教室に入ることが難しい学生を対象に、同時双方向で授業を受けられるハイフレックスルームを設置した。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://forms.sanko.ac.jp/1eix2c/nagoyachild/generalform.php?gfc=7ecp94&_gl=1*15sgai4*_gcl_au*MTc3ODc0MjcxOS4xNzQ2Njg1MjA2
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-child/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf